

## 社会公益賞の表彰と キワニス文庫贈呈式

社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」（荒島正会長）は12日、社会貢献を続ける人や団体を表彰する社会公益賞と、子どもたちの活字離れを防ぐためのキワ



社会公益賞を受賞した団体の代表者ら

ニス文庫の贈呈式を名古屋市内のホテルで行った。

社会公益賞には、自閉症者の自立を支援する「檜の里 自閉症総合援助センターあさけ学園」（三重県菟野町）、多文化共生の街づくりに取り組む「NPOまなびや@KYUBAN」（名古屋市中港区）、「性暴力救済センター 日赤なごやなごみ」（同市昭和区）が選ばれ、賞状と賞金50万円の目録が贈られた。名古屋国立西部医療センター（同市北区）と慈友学園（同市東区）には、キワニス文庫（25万円相当の絵本など）が贈られた。荒島会長は「子どもたちを取り巻く環境は複雑化している。これからも、きめ細かな奉仕活動を着実に進めたい」とあいさつ。あさけ学園の山田勉理事長は「38年間の地道な取り組みが認められ大変うれしい」と喜んでいた。